

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 4 道路照明新技術導入促進・実装検討業務
業 務 概 要	<p>本業務は、導入のために照明設置基準の改定が必要な新技術について、フィールドテストを行いデータを取得し、その結果を有識者の委員会にて聴取を行い、設置基準の改正に向けた検討を行うものであり、以下の内容からなる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 照明技術に係る動向調査 1式 2. 道路照明に係る新技術の実環境試験の効果検証 1式 3. 基準等への反映に向けた各種検証・データ取得 1式 4. 有識者等の意見聴取、反映 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 藤巻 浩之 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和5年7月7日
契 約 業 者 名	一般社団法人建設電気技術協会
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区赤坂一丁目3番6号
契 約 金 額	54,890,000 円 (税込み)
予 定 価 格	54,989,000 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、低輝度・高均斉度照明方式の導入のために、信頼性の高いデータを取得する方法について技術提案を求め、提出された技術提案に基づいて、仕様を作成する方が最も優れた成果を期待できる内容であることから、簡易公募型に準じたプロポーザル方式（拡大型）による随意契約を選定した。</p> <p>一般社団法人 建設電気技術協会は、技術提案をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和5年7月8日
履 行 期 間 (至)	令和6年2月29日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号
備考	公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。